

【26.5.10 理事会承認】

選手強化委員会

ピストル選手の海外派遣基準・アジア大会選考方法について

I. ピストル選手の海外派遣基準について

ナショナルチーム選考基準要綱（以下基準要綱）に定めた派遣基準点を、派遣人数予定枠以上にクリアした場合の選考基準について定める。なお、この基準は毎年のワールドカップ大会の結果をみて、ピストル部会で適正かを見直し、協会ホームページで発表する。

基本的な考え方

1. ピストルカテゴリーA 選手は、協会が派遣を決定した海外試合には、原則として参加できる。
2. 基準要綱に定めた海外派遣を判定する対象試合において、派遣基準点を A 基準においては1回、B 基準においては2回クリアすれば、派遣対象選手となるが、派遣人数枠が限られているため多数のクリア選手が出た場合は、以下の考え方で決定する。
  - ・ A 基準1回クリア選手のほうが、B 基準2回クリア選手よりも優先される。
  - ・ A 基準点については、ワールドカップファイナル進出可能点数、B 基準点はワールドカップ 15 位相当点数を想定している。昨年4月のチャンウオン大会から、今年4月のフオートベニング大会までの5回の大会での、A・B 基準点の順位、ならびに平均順位は以下の通り。

単位：位

	A・B 基準点	2013	フオート	ミュン	グラナダ	2014	AB 平均	
		チャンウオン	ベニング	ヘン		フオートベニング	順位	順位
							A	B
AP60M	580・577	8/14	8/16	9/23	6/17	12/18	8.6	17.6
AP40W	383・380	6/13	4/15	13/19	9/15	8/11	8	14.6
FP60M	559・555	6/9	9/12	10/16	9/24	7/12	8.2	14.6
SP	582・578	7/13	9/14	4/12	7/17	6/12	6.6	13.6
RFP	580・575	3/8	8/15	9/15	12/21	8/17	8	15.2

上記 A・B 基準を選定した際は、2012 年、2013 年のワールドカップの結果をもとに選定した。上記基準は今年度中に変更しない。

A 基準をクリアした選手の優先順位は以下の表を用いて比較し、上位の点数の選手を選考する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
AP60M	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589
AP40W	383	383.7	384.3	385	385.7	386.3	387	387.7	388.3	389
60発読み換え	574.5	575.5	576.5	577.5	578.5	579.5	580.5	581.5	582.5	583.5
FP60M	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568
SP		582	583	584	585	586	587	588	589	590
RFP	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589

同じランクに入っている場合は、別途コーチ陣で公平性を重視して決定する。

## II. アジア大会派遣選手選考について

前提条件：JOC 派遣枠ピストルは男子4（内1名はRFP）、女子3の計7名

1. 個人戦、団体戦があるので、選考選手は2種目いずれも平均して高得点が望める選手を選考する。
2. A カテゴリーの松田、堀水、秋山、佐藤絹子選手は確定。
3. 選考対象試合は海外試合にあっては、昨年のWC グラナダから、今年のWC マリボルまでの派遣試合結果、国内試合にあっては、今年2月の冬季ピストル大会の50m、25m記録、今年5月開催の春季ピストル大会50m、25mの記録、10mについては今年5月の春季NT 選考記録会のそれぞれ各種目2回の結果を参照する。  
この結果で海外派遣基準をクリアする選手がいない場合は、コーチ陣によって国内記録を参照のうえ、決定する。

以上